33. *Icius magister* Karsch　クロハネグモ

34. *Menemerus confusus* Boesenberg et Strand　ハヘトリグモ

35. *Myrmarachne japonicola* Boesenberg et Strand　クロアリグモ

Fam. CLUBIONIDAE (フクログモ科)

36. *Clubiona japonicola* Boesenberg et Strand　ハマキフクログモ

註 *印は大山にて得たるもの

コケオニグモ九州に産す

予は王寺幸寛氏御採集の九州宮崎地方產蜘蛛類標本を拜見中，圖らずも同地方にコケオニグモ *Araneus mongolicus* Simon を產する事を知つた。該標本は1936年10月25日宮崎市で御採集になつたもので，まだ極めて若い一頭の♀であつたが，本種獨特の色彩及斑紋等からして予は容易に此の蜘蛛を上記コケオニグモに同定する事が出來た。

本種は日本・滿洲南部及內蒙古等から知られてをり，本邦では朝鮮及本州中部以東で稀に採集せられる珍品である。以上の樣な分布を持つ此の蜘蛛が九州宮崎市で發見された事は特筆に値すると思ふ。此所に短報を記す所以である。　(植 村 利 夫)

ヨシイヘハヘトリの分布

日本產ハヘトリグモ類の最も見事な種にヨシイヘハヘトリ *Yoshiiyea agoana* Kishida 1913がある。本種は其の學名及和名が源義家に因むが如く關東から奧羽地方へかけて個體數の非常に多い種であるが，中部以西からは殆ど知られて居なかつた。而るに一昨年坂口總一郎氏が紀州高野山に於て採集せられたのを初めとして山根靜雄氏は滋賀縣及廣島市附近に於て，王寺幸寛氏が宮崎市に於て之を採集し，西は遠く九州まで分布する事が分つた。更に東は北海道小樽市に於て竹原榮氏が本種を採集なされた事は已に本誌に報告しておいた。斯くて義家の勢力範圍も關東・奧羽地方に限らず廣く日本內地全體に擴がつたわけである。但しこれ等の新產地に於ては東京市附近程も多產しない事は確かだと思ふ。

(植 村 利 夫)